

**高品位なサウンドと直感的かつシンプルな操作性を持つクリエイター向けの音響製品を発売**  
**ヤマハ デジタルミキシングコンソール『MGX シリーズ』**  
**オーディオインターフェース『URX シリーズ』 USB コントローラー『CC1』**

ヤマハ株式会社（以下、当社）は、幅広く活動するクリエイターに向けた音響機器の新製品として、デジタルミキシングコンソール『MGX シリーズ』とオーディオインターフェース『URX シリーズ』、USB コントローラー『CC1』を2026年1月23日（金）より順次発売します。



当社では、小規模イベントや会議向けのミキシングコンソール「MG シリーズ」や、音楽制作やライブ配信まで幅広く活動するクリエイター向けのオーディオインターフェース「URX-C シリーズ」「UR-MK3 シリーズ」「AG シリーズ」など、さまざまな音響機器を発売しており、好評を得ています。

今回発売する製品群の内、『MGX シリーズ』は「MG シリーズ」のミキシング部とコントロール部をデジタル化し、オーディオインターフェース機能を強化したデジタルミキサーです。『MGX16V/12V』はHDMI 端子を備え、ビデオカメラやゲーム機の映像と音声を入力・キャプチャー・パススルーができます。『URX シリーズ』は、広いダイナミックレンジと低ノイズを実現したプロ仕様の音質とミキシング機能、直観的な操作性を備えたオーディオインターフェースです。『URX44V』はHDMI 端子を備え映像と音声の入力やパススルーができます。『CC1』は、高感度のLCD キーとタッチセンス付きモーターフェーダーにより、PC 上の音楽制作の複雑なワークフローを最適化するUSB コントローラーです。一部の他社 OS 機能やソフトウェアとも連携します。いずれの製品もライブや設備音響だけでなく音楽制作や配信まで幅広い用途で活躍します。

モデル名	品番	色	価格（税込）	発売時期
デジタルミキシングコンソール	MGX16V	B/W	オープンプライス	2月
	MGX16	B/W		
	MGX12V	B/W		
	MGX12	B/W		
ラックマウンドキット (オプション品)	RK-MGX16	-		
	RK-MGX12	-		
オーディオインターフェース	URX44V	B/W	126,500 円	2月13日（金）
	URX44	B/W	79,200 円	
	URX22	B/W	63,800 円	
USB コントローラー	CC1	-	63,800 円	1月23日（金）

■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター

TEL:0120-016-808 050-3852-4471（携帯電話、IP 電話から）

## < 『MGX シリーズ』 主な特長 >

### 1. 好評の「MG シリーズ」をデジタル化

多用途向けの機能をよりコンパクトな筐体で実現するため、『MGX シリーズ』は長年にわたりベストセラーモデルとして高く評価されてきたアナログミキサー「MG シリーズ」のミキシング部とコントロール部をデジタル化しました。高品位なサウンドと性能、柔軟性を兼ね備え、音楽制作や配信、イベント、設備音響など幅広い用途で実力を発揮します



音楽制作



配信



ライブなどのイベント

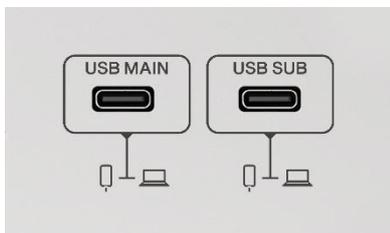


設備音響

### 2. 多彩な入出力とルーティング機能

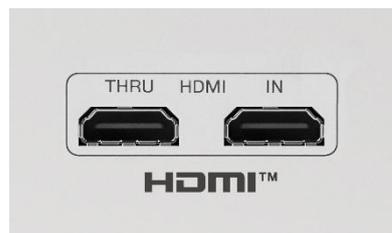
高音質 MGX マイクプリアンプをマイク/ラインコンボ入力に搭載しました。また、4 系統のステレオ入力と柔軟なルーティング機能により、会議や小規模ライブイベントから音楽制作、配信まで、さまざまな用途で使用可能です。さらに、STEREO OUT (XLR 端子) と 8 系統 (『MGX12』は 6 系統) の OMNI OUT (TRS フォーン) と 4 系統のヘッドホン端子を搭載し、多彩なモニタリングを実現しています。

加えて、USB-C 端子を 2 系統搭載し、PC やスマホ・タブレット経由のセットアップができます。他にも、Bluetooth オーディオ入力による BGM 再生や microSD Card による最大 16 トラックマルチ録音、ステレオ再生にも対応しています。



### 3. HDMI 入出力端子を搭載 (『MGX16V/12V』のみ)

『MGX16V』 『MGX12V』は HDMI 入力とパススルー専用の THRU 端子を搭載しています。ビデオカメラやゲーム機から入力された映像信号をモニターディスプレイなどにパススルーしつつ USB MAIN 端子を通して PC に映像を取り込むことができます。一方、音声信号はダウンミックスされてミキサー側の任意のチャンネル取り込むことが可能で、THRU 端子から 2 チャンネル音声を出力することもできます。



### 4. 多様なエフェクト機能やクリエイティブツールを搭載

Gate、Comp、EQ、リバーブに加え、過大入力時に自動でゲインを下げてクリップを回避する Clip Safe、自動測定から最適な GAIN を設定できる Auto Gain を搭載しています。また、アンプシミュレーターやボイスチェンジャーなどのクリエイティブツールも備えており、Sound Pad への効果音の割り当てや STREAMING OUT チャンネルのリップシンク調整 (DELAY) にも対応します。

### 5. ユースケースに合わせて選択できる 2 つの操作モード

すべての機能を使用できる通常の「Standard モード」と、用意されたユースケース合わせたシンプルな UI 操作で運用できる「Simple モード」の 2 つを搭載しています。

## < 『URX シリーズ』 主な特長 >

### 1. 高音質で多彩な入出力とルーティング機能

32bit/192kHz の高解像度に対応した AD/DA コンバーターを搭載。ゲインレンジ 78dB の高音質マイクプリアンプとダイナミックレンジ 125dB のメインアウトを備えた入出力に加え、柔軟なルーティング機能によりさまざまな用途に対応します。また、USB-C 端子を 2 系統搭載し、同時に複数の PC やスマホ・タブレットを接続・統合したセットアップが可能です。他にも、microSD Card による最大 16トラックマルチ録音やステレオ再生にも対応します。



『URX44』の背面入出力

### 2. HDMI 入出力端子を搭載（『URX44V』のみ）

『URX44V』は HDMI 入力とパススルー専用の THRU 端子を搭載しています。入力された映像信号をモニターディスプレイなどにパススルーしつつ USB MAIN 端子を通して PC に映像を取り込むことができます。一方、音声信号はダウンミックスされてミキサー側の任意のチャンネル取り込むことが可能で、THRU 端子から 2 チャンネル音声を出力することもできます。



### 3. 直感的な操作性

直感的に操作できるタッチ LCD と 4 つのカスタマイズ可能なノブ、TOUCH AND TURN ノブによって、すばやく正確かつ簡単な操作性を実現します。また、Gate、Comp、EQ、リバーブに加え、過大入力時に自動でゲインを下げてクリップを回避する Clip Safe、自動測定から最適な GAIN を設定できる Auto Gain を搭載しました。さらに、アンプシミュレーターやボイスチェンジャーなどクリエイティブツールも備えています。



### 4. ユースケースに合わせて選択できる 2 つの操作モード

すべての機能を使用できる通常の「Standard モード」と、用意されたユースケース合わせたシンプルな UI 操作で運用できる「Simple モード」の 2 つを搭載しています。

## < 『CC1』 主な特長 >

### 1. プロフェッショナルなコントロール体験

タッチセンス機能を備えた 100 mm モーターフェーダーと 10 ビット解像度により、DAW などのプロフェッショナルソフトウェアに求められるリアルタイムかつ精密な調整を可能にし、ダイナミックなコントロールを実現します。さらに、AI ノブと 4 つのマルチファンクションノブによって多彩なコントロールオプションが提供され、すばやく直感的なパラメーター調整や、タスクおよび設定の効率的な操作が可能です。



## 2. DAW に特化したコントロール

CC1 の下部には、DAW（音楽制作用デジタル・オーディオ・ワークステーション）に特化したコントローラーが搭載されています。再生・録音・停止といった基本的なトランスポート操作から、ゲインやパン調整、エフェクトパラメーターのコントロールやオートメーションといった DAW 専用タスクに最適化されたフェーダーやノブに至るまで、あらゆる主要機能に即座にアクセスできます。※スタインバーグ「Cubase」/「Nuendo」についてはシームレスな統合に対応しており、Avid 社の ProTools もサポートします。



## 3. 直感的な操作性

Elgato の Stream Deck アプリに対応した 12 個のアサイン可能な LCD キーを通して自由に機能を割り当て、自分のワークフローに合わせてコントローラーをカスタマイズ可能なため、DAW だけでなく、ドキュメント作成ソフトやメディアの再生/管理ソフトのような一般的なものから、ビデオ制作ソフトや配信ソフト、遠隔通信アプリやゲームまで、さまざまな用途に対応します。



詳しい仕様などは下記製品ページをご覧ください。

- 『MGX シリーズ』 <https://jp.yamaha.com/products/proaudio/mixers/mgx/index.html>
- 『URX シリーズ』 [https://jp.yamaha.com/products/music\\_production/interfaces/urx/index.html](https://jp.yamaha.com/products/music_production/interfaces/urx/index.html)
- 『CC1』 [https://jp.yamaha.com/products/music\\_production/controllers/index.html](https://jp.yamaha.com/products/music_production/controllers/index.html)

\*文中の商品名、社名等は当社や各社の商標または登録商標です。

\*掲載情報はすべて発表日現在のものです。発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

ヤマハ株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 担当：佐藤 圭 TEL 050-3148-8660  
ウェブサイト [https://www.yamaha.com/ja/news\\_release/](https://www.yamaha.com/ja/news_release/)

### ■ 一般の方のお問い合わせ先

株式会社ヤマハミュージックジャパン プロオーディオ・インフォメーションセンター  
TEL:0120-016-808 050-3852-4471（携帯電話、IP 電話から）